

シビウ国際演劇フェスティバル

シビウ国際演劇フェスティバルとは

- イギリスのエジンバラ国際演劇フェスティバル、フランスのアヴィニオン国際演劇フェスティバルとならぶヨーロッパ三大演劇祭の一つ。
- 毎年世界の約70ヶ国から約350の団体が参加し、10日間にわたり街全体を使って演劇・ダンス・ストリートパフォーマンス等、クオリティーの高いパフォーマンスが繰り広げられ、毎年70万人の観客が世界から集まる人気のフェスティバル。(シビウの人口17万人)
- また、シビウ国際演劇祭は、故・中村勘三郎が率いる「平成中村座」の最初のヨーロッパ公演の地として知られ、日本の舞台芸術との交流が行われてきたが、これまで能楽が招聘されたことはなく、山本能楽堂が初めてシビウ演劇フェスティバルに招聘を受け、能の公演で参加した。



- 1993年、3か国から8公演の参加が演劇祭のスタート。
総合監督のコンスタンティン・キリアック氏が、
1989年のルーマニア革命で炎上した劇場の復興に尽力し、
フェスティバルを立ち上げ、シビウを化都市として再生。
- シビウは、ルーマニアの中央に位置する中世の街並みがそのまま残る
美しいまちであるが、まち全体を使って、10日間で472の演目が上演される。
会場：ラドゥ・スタンカ国立劇場を中心に、市内の劇場や美術館、
広場やストリート、学校や教会、遺跡など60カ所を越える屋内外の場所が
会場となり公演が行われる。
- 事業規模：約10億円（2008年度）
大統領の後援を受け、政府からの直接的な支援。
約35%文化省、外務省、県庁、シビウ市役所
約30% 国際的なプロジェクトからの支援
約10% チケット収入 ¥ 約25% スポンサーからの協賛
* 1日に6~7万人が訪れることで経済効果が認められ協賛

大広場、小広場、メインストリートを中心に10日間に472のイベントが開催される。



- 銀行、自動車会社、放送局、地元企業などからの多くの協賛。
- 世界中から集まるボランティアスタッフ





メインストリート・大広場・小広場で絶え間なく舞台芸術が上演されるが、会場を取り囲むように、オープンエアのレストランやカフェが設営されており、飲食をしながら演劇を鑑賞できる客席としての役割も担っている。ほとんど全てのお店が常時ほぼ満席の状態。大きな経済効果が見込める。



【ストリートライブ能】

ガラパーティの前に会場の外でゲリラライブを開催。

映画「ショーシャンクの空に」の主演男優 ティム・ロビンスにも熱心にご覧いただいた。

